



1.御神火づくり①

萱(カヤ)を立て掛けるための支柱設置。先端には松が取り付けられた。



8.雪中田植え②

以前は各家庭毎に日の出とともに東に向かって祈願し、稲苗はその日の夕方に行われる御柴燈に持ち寄りました。



9.採 火

火入れは、祭壇の燈明(ロウソク)から松明見立ての稲ワラで採火するのが習わしですが、今年は萱で代用しました。



2.御神火づくり②

依前は稲ワラでしたが、調達が大変で代用されるようになった。



7.雪中田植え①
その年の豊作(五穀豊穡)を願って、雪の上に稲ワラと(大)豆殻を束ねたものを稲苗に見立て植えていく小正月行事。稲苗は、御柴燈で燃やします。



10.御柴燈①

御柴燈はおれを焼いた御神火にあたることで、一年の無病息災、家内安全を祈願するものと言われ、おれなどが燃え残らないようにすることが肝心です。



3.御神火づくり③

各家庭で祀られていた前年の古神札やしめ縄、しめ飾り、門松、破魔矢などを持ち寄りましたが、以前は子ども育成会が家庭を廻り集めました。



6.神 事

今年の「村内・家内安全、稼業繁栄、学業成就、五穀豊穡、無病息災」などを祈願しました。



11.御柴燈②

子ども達が”おっさいど”の歌いわけだ。鼻クソ、目クソ飛んでいけ”と合唱するのが習わしで、以前にはお汁粉などの振舞いがあったり、来場者も多く、子ども達も楽しんでいました。



4.御神火

大人に混ざって子ども達も手伝いました。御柴燈は小正月の毎年1月15日の夕方からでしたが、近年、成人の日を含む3連休の中日に行うことが多くなりました。



5.雪中田植え準備

例年は雪の上に竹竿で目状に12×12の植付印をつけたのですが、今年は雪がないので縄とスコップで”田んぼ”づくり。



12.御柴燈③

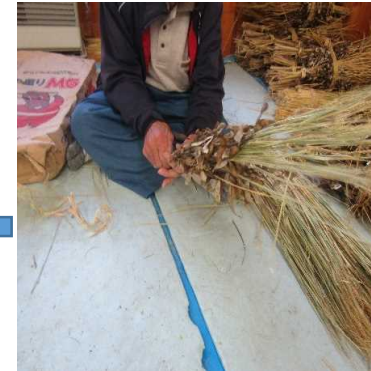
煙草にその火を付けて吸うと無病息災・虫歯除けにもなる、などと言われたほか、家内安全などを願って種火を持ち帰る家庭もあります。

雪中田植えイネ苗の作り方手順 (2019. 12. 19)



準備物

- ・(大) 豆殻
- ・稲 藁
(しごいたもの)



藁の穂先は切らないでそのまま。



適当な所を藁で縛る。



雪中田植え

”その年の豊作(五穀豊穰)”を願って、雪の上に稲わらと(大)豆殻を束ねたものを種苗に見立てて植えていく小正月行事。



藁を豆殻で包む。

